



共育に関する情報をお届けします。

「UNI-ONE × 妙香園 親子PBL授業、第5回を開催。」

The 5th
lesson

最終プレゼンに向けた調整

第5回は、最終回に向けての最終調整の時間。だったのですが、色々なハプニングがあり、ハラハラ・ドキドキの時間となりました。運営スタッフも子どもたちに助けてもらい、無事よしとも社長にプレ発表ができました。しっかりと堂々と発表する姿がとても頼もしかったです。よしとも社長からいただいた色々な質問や意見について、話し合い、いよいよ最終回に向けて調整していきます。正直、会社でも大人たちが苦戦する内容に挑戦している子どもたち。今回の経験は、これから的人生にも役立ってくれることでしょう。



Homework

次の発表までに子どもたちに少し考えてみて欲しいこと

①ターゲットをより詳しく

小学生～大人
をもっと深掘りすること。
例：歴史好き、お城好き等

②みんなはどうやって (どうして),お茶を好きになったか?

③どういうイベント だったら行きたいか?

Inside story

“共創する”ということ

共創（きょうそう）とは、ちがう立場の人たちが力を出し合い、いっしょに新しい価値を生み出すこと。

Uni-Oneと妙香園の共創プロジェクトでは、

子どもたち・企業・運営（Uni-One）の三者が、それぞれの得意分野と想いを持ち寄りながら、「学び」「つながり」「未来づくり」を形にしていきます。

子どもたちは、自由な発想で“新しい問い・アイディア”を生み出す。

企業（妙香園様）は、長い歴史とお茶の知恵で、その問い合わせ“かたち”にする。

Uni-Oneは、その過程を“学びと出会いの場”としてデザインし、つないでいく。

一人ではできないことも、立場を超えて協力すれば、社会に新しい風を起こせる。

それが、Uni-Oneが考える“共創”的な力です。

このプロジェクトを通じて、

子どもたちは「社会と出会い、考える力」を育み、企業は「未来世代との対話」から新しい発見を得て、地域は「世代をこえる学びの循環」を生み出していくことを目指します。

関係者の想い Vol.04

編集後記



この5回を通して感じたのは、子どもたちの中にある“想像する力”と“まっすぐに学ぶ力”的大きさです。正解のないテーマに向き合い、仲間と意見を交わし、時に迷いながらも前に進む姿に、私たち大人の方が学ばされました。“共創”とは、知識を教えることではなく、互いの違いを認め合いながら新しい価値と一緒に生み出すことだと思っています。妙香園様、子どもたち、そして私たちUni-Oneが、それぞれの立場をこえてひとつの想いでつながれた時間でした。私自身も小学生の子どもを持つ母として、子どもたちの成長を見守る視点からも、この経験は一生の宝になると感じました。これからも、学びと人、地域と未来をつなぐ“共創の輪”を広げていきたいと思いました。



—ニュースレター編集担当：有賀一

Next

最終回は『最終プレゼンテーション』です

今回の妙香園様との共創PBL(問題解決型・主体的)授業は全6回を予定しています。

第5回では、資料をつくり、妙香園のよしとも社長にプレゼンテーション前のプレ発表を行いました。

トラブルがあり、資料作りの時間が少なくなってしまいましたが、発表後によしとも社長から様々な視点から質問や提案をいただき、子どもたちも各々考えをめぐらせていました。

第6回は最終プレゼンテーションを予定しています。私たちも子どもたちと試行錯誤しながら、あくまで子どもたちが考えて、決めていくという過程を大切にしながら進行していきます。

合同会社 Uni-One

所在地：愛知県名古屋市千種区桜が丘119-110

代表：室園幸志（CEO）

事業内容：共育事業・企業支援事業・美容と癒し事業

URL: <https://uni-one.co.jp>

E-mail: company@uni-one.co.jp

Tel: 052-990-0152

-思考とコミュニケーション-



お友達登録もお願いします(^^)

